

2026年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕〔実用数学〕	3 年	4 単位	教科書	なし	副教材等	なし	履修対象・ 使用教室 等	3 年アクティブ 各HR教室
教科・ 科目 の 目標	(1) 中学校卒業段階ならびに数学Ⅰ及び数学Aにおける基礎基本的な知識、技能を身につけ、就職・進学に向けた一般常識問題を解くための知識を身につける。 (2) 本校で実施している到達度テストと連携し、点数の向上ならびに基礎基本の定着と学習に取り組む姿勢を身に付ける。 (3) 数学と人間とのかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度を育てる。								
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	・基本的な概念、原理・法則、用語・記号など基礎的な知識を理解しているか。 ・事象を数式的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能が身についたか。			・数学的な見方や考え方の良さを認識し、事象を数式的にとらえ、論理的に考えることができるか。 ・身近な事象を数式化し、積極的に数学を活用しようとしているか。			・授業に集中し、他の生徒と共に協力し合いながら問題解決に取り組むことができるか ・家庭学習の習慣を身につけて、課題等の提出に積極的に取り組むことができるか。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学び直し課題、プリント		到達度テスト4月ならびに9月に実施、学び直し課題（プリント）の取り組み状況			70		70	70
	節目テスト		年に2～4回予定			20		20	
	数学と人間とのかわりについてのレポート		12月～1月実施予定			10		10	30
	〔観点別配分％〕		〔3観点の比重を％で示しています〕						
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名		配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔○●〕 知・技 思・判・表 態度
4 5	数学演習 ・学び直し課題 ・プリント学習		28	・中学校卒業段階ならびに数学Ⅰ、数学Aの基礎基本の定着を図る。 ・課題配信やプリント学習を通じて、「分かった」「できた」の成功経験を積み、学習習慣の確立を目指す。			学び直し課題、プリント 節目テスト 数学と人間とのかわりについてのレポート		● ● ● ●
6 7	数学演習 ・学び直し課題 ・プリント学習 ・節目テスト		32	・中学校卒業段階ならびに数学Ⅰ、数学Aの基礎基本の定着を図る。 ・課題配信やプリント学習を通じて、「分かった」「できた」の成功経験を積み、学習習慣の確立を目指す。			学び直し課題、プリント 節目テスト 数学と人間とのかわりについてのレポート		● ○ ● ● ●
8 9	数学演習 ・学び直し課題 ・プリント学習 ・節目テスト		24	・中学校卒業段階ならびに数学Ⅰ、数学Aの基礎基本の定着を図る。 ・課題配信やプリント学習を通じて、「分かった」「できた」の成功経験を積み、学習習慣の確立を目指す。			学び直し課題、プリント 節目テスト 数学と人間とのかわりについてのレポート		● ○ ● ● ●
10 11	数学演習 ・学び直し課題 ・プリント学習		32	・中学校卒業段階ならびに数学Ⅰ、数学Aの基礎基本の定着を図る。 ・課題配信やプリント学習を通じて、「分かった」「できた」の成功経験を積み、学習習慣の確立を目指す。			学び直し課題、プリント 節目テスト 数学と人間とのかわりについてのレポート		● ● ●
12 1	数学演習 ・学び直し課題 ・節目テスト ・数学と人間とのかわりについてのレポート		24	・中学校卒業段階ならびに数学Ⅰ、数学Aの基礎基本の定着を図る。 ・課題配信やプリント学習を通じて、「分かった」「できた」の成功経験を積み、学習習慣の確立を目指す。 ・数学と人間のかかわりについて、保険や金融など、卒業後に活用できる知識を身に付け、活用できる思考力を身に付ける。			学び直し課題、プリント 節目テスト 数学と人間とのかわりについてのレポート		○ ○ ● ○ ● ●
学習の アドバイス	・授業内で、到達度テスト対策を中心に、中学校段階から数学Ⅰ、Aの基礎基本の定着を図るので、スタディサプリを常にかけるようにすること。数学Ⅰと数学Aの教科書を持参すること。 ・スタディサプリの課題やプリント学習が中心となるので、毎回の提出が大事となります。むしろ、取り組みを評価していきますので、何事も最初が肝心です。ともにやっていきましょう！！								